

吸音材料	<input type="radio"/> フック付化粧吸音板 (DR) <input type="radio"/> フック付化粧吸音板 (DR) <input type="radio"/> フック付化粧吸音板 (DR)	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 9 (不燃) ・12 (不燃) <input type="radio"/> 12 (不燃) ・15 (不燃)
	<input type="radio"/> フック付化粧吸音板 (DR) (1号) <input type="radio"/> フック付化粧吸音板 (DR) (2K)	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 25 <input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 25 (かぶり込み)
せつこうボード	<input type="radio"/> せつこうボード (GB-R) <input type="radio"/> ジンゲせつこうボード (GB-S) <input type="radio"/> 強化せつこうボード (GB-F)	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 9.5 (準不燃) <input type="radio"/> 2.5 (不燃) ・15 (不燃)
<input type="radio"/> 化粧せつこうボード (GB-D) <input type="radio"/> せつこうボード (GB-L)	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 9.5 (不燃) 幅 440mm 程度 <input type="radio"/> 木目 12.5 (不燃) 柱目・板目 専用下地材有り <input type="radio"/> トライバーチン模様 9.5 (準不燃)	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 9.5 (不燃)
<input type="radio"/> 不燃積層せつこうボード (GB-NC) <input type="radio"/> 化粧無し (下地材用) <input type="radio"/> 化粧有り (3層・4層仕様)	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 9.5 (不燃)	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 9.5 (不燃)
合板類	<input type="radio"/> 普通合板 G <input type="radio"/> 天然木化粧合板 G <input type="radio"/> 特殊加工化粧合板 G	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> ※図示による
天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 合板類の張付け <input type="radio"/> A種 ・ B種 <input type="radio"/> せつこうボードの目地工法等 <input type="radio"/> 目地工法の種類 <input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> 縦目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法 <input type="radio"/> 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 <input type="radio"/> ベベルエッジ ・ スクエアエッジ <input type="radio"/> 化粧加工の方法 (オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装)	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> ※図示による
壁紙張り	<input type="radio"/> ホルムアルデヒド放散量 <input type="radio"/> ※F☆☆☆☆ <input type="radio"/> 壁紙の種類 <input type="radio"/> 紙 織織 塩化ビニル グラス繊維 無機質 その他 <input type="radio"/> 防火性能 <input type="radio"/> 備考	<input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> ※図示による <input type="radio"/> ※図示による
モルタル塗り	<input type="radio"/> モルタル <input type="radio"/> 現場調合材料 <input type="radio"/> 既調合材料 <input type="radio"/> 既製目地材 <input type="radio"/> 設ける <input type="radio"/> 設けない <input type="radio"/> 床の目地 <input type="radio"/> 設ける <input type="radio"/> 目地割り <input type="radio"/> ※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度) <input type="radio"/> 目地の種類 <input type="radio"/> ※押し目地 <input type="radio"/> 設けない <input type="radio"/> 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 <input type="radio"/> ※図示による	<input type="radio"/> [6.14.2、3] <input type="radio"/> [6.15.3、5、6] <input type="radio"/> [6.16.2~4]

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による 見本焼き ・行う (施工箇所:) ・行わない 試験張り ・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法</th> <th>再生材料</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>(mm)</td> <td></td> <td>G I 類 II 類 III 類</td> <td>施す 無</td> <td>有 無</td> <td></td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする ・既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を用意工場において所定の割合に配合した材料とする。 ・既調合目地材 壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法</th> <th>再生材料</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>(mm)</td> <td></td> <td>G I 類 II 類 III 類</td> <td>施す 無</td> <td>有 無</td> <td></td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	施工箇所	形状/寸法	再生材料	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑	備考		(mm)		G I 類 II 類 III 類	施す 無	有 無		有 無	有 無		施工箇所	形状/寸法	再生材料	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑	備考		(mm)		G I 類 II 類 III 類	施す 無	有 無		有 無	有 無	
施工箇所	形状/寸法	再生材料	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑	備考																																
	(mm)		G I 類 II 類 III 類	施す 無	有 無		有 無	有 無																																	
施工箇所	形状/寸法	再生材料	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑	備考																																
	(mm)		G I 類 II 類 III 類	施す 無	有 無		有 無	有 無																																	
塗厚 (mm) 10	[6.17.2、3]																																								
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	[7.1.3]																																								
塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ※図示による 既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ・行う (箇所) ・行わない 下地調整	[7.2.1~7]																																								
<table border="1"> <tr> <th>素地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※RA種 ※RC種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>重鉛めっき鋼面</td> <td>※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>重鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※RB種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及び せつこうプaster面</td> <td>※RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、 ALCパネル面</td> <td>※RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)</td> <td>・RB種 ・RC種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及び その他ボード面</td> <td>※RB種</td> <td>—</td> </tr> </table>	素地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修	不透明塗料塗りの場合	※RB種	—	透明塗料塗りの場合	※RA種 ※RC種	—	鉄鋼面	※RB種	—	重鉛めっき鋼面	※RB種	—	重鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種	—	モルタル面及び せつこうプaster面	※RB種	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP以外)、 ALCパネル面	※RB種	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない	せつこうボード面及び その他ボード面	※RB種	—	[7.3.2~7]							
素地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修																																							
不透明塗料塗りの場合	※RB種	—																																							
透明塗料塗りの場合	※RA種 ※RC種	—																																							
鉄鋼面	※RB種	—																																							
重鉛めっき鋼面	※RB種	—																																							
重鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種	—																																							
モルタル面及び せつこうプaster面	※RB種	・行う ・行わない																																							
コンクリート面 (DP以外)、 ALCパネル面	※RB種	・行う ・行わない																																							
押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない																																							
コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない																																							
せつこうボード面及び その他ボード面	※RB種	—																																							
<table border="1"> <tr> <th>素地面等</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※B種 ○A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>※C種 ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>※B種 ・ A種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>重鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせつこうプaster面</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DPのみ)</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及び その他ボード面</td> <td>目地: 縦目処理工法 目地: 縦目処理工法以外</td> </tr> </table>	素地面等	種別	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種	透明塗料塗りの場合	※B種 ○A種	鉄鋼面 (DP以外)	※C種 ・ A種 ・ B種	鉄鋼面 (DP)	※B種 ・ A種 ・ C種	重鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種	モルタル面及びせつこうプaster面	※B種 ・ A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種 ・ A種	押出成形セメント板面	※B種 ・ A種	コンクリート面 (DPのみ)	※A種 ・ B種	せつこうボード面及び その他ボード面	目地: 縦目処理工法 目地: 縦目処理工法以外	[7.3.2~7]																		
素地面等	種別																																								
不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種																																								
透明塗料塗りの場合	※B種 ○A種																																								
鉄鋼面 (DP以外)	※C種 ・ A種 ・ B種																																								
鉄鋼面 (DP)	※B種 ・ A種 ・ C種																																								
重鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種																																								
モルタル面及びせつこうプaster面	※B種 ・ A種																																								
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種 ・ A種																																								
押出成形セメント板面	※B種 ・ A種																																								
コンクリート面 (DPのみ)	※A種 ・ B種																																								
せつこうボード面及び その他ボード面	目地: 縦目処理工法 目地: 縦目処理工法以外																																								

<input type="radio"/> 錆止め塗料塗り <input type="radio"/> 塗装	<p>錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2、3]</p> <table border="1"> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗替え</th> <th>錆止め塗料塗りの種別</th> <th>錆止め塗料の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>SOP (工程の種別は表7.4.3)</td> <td>塗替え 新規見え隠れ</td> <td>※A種 ※B種</td> <td>A種 A種</td> </tr> <tr> <td>EP-G (工程の種別は表7.4.3)</td> <td>塗替え 新規見え隠れ</td> <td>※C種 ※B種</td> <td>※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>DP (工程の種別は表7.4.4)</td> <td>塗替え 新規</td> <td>※B種 ※A種</td> <td>7.4.2 (1) (4) (b) による 7.4.2 (1) (4) (a) による</td> </tr> <tr> <td>SOP (工程の種別は表7.4.5)</td> <td>塗替え 鋼製建具等 その他</td> <td>※C種 ※A種 ・ C種</td> <td>※A種 ・ B種 ※A種 ・ B種 塗りB種の場合 塗りA種又はC種の場合 ※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>EP-G (工程の種別は表7.4.5)</td> <td>塗替え 新規鋼製建具等 その他</td> <td>※C種 ※A種 ・ C種</td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td>DP (工程の種別は表7.4.6)</td> <td>塗替え 新規</td> <td>改修標準仕様書 表7.4.6による</td> <td>B種</td> </tr> </table> <p>[7.5.2~7.12.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○合成樹脂塗合ベイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗装の種類</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">※1種</td> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・クリヤラッカー塗り (DL)</td> <td></td> <td>※B種 ・A種 (着色塗料の種類:)</td> <td>※B種 ・A種 (着色塗料の種類:)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○アクリル樹脂系非分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>改修標準仕様書</td> <td>改修標準仕様書</td> <td>改修標準仕様書</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>7.8.2による</td> <td>7.8.2による</td> </tr> <tr> <td>重鉛めっき鋼面</td> <td>改修標準仕様書</td> <td>改修標準仕様書</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>7.8.3による</td> <td>7.8.3による</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○2液形アクリルシリコン樹脂エマルジョン塗り (2-ASE)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (コンクリート面、木部面、せつこうボード面、その他) の塗替えの場合のみ ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをししめシーラーとする</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合成樹脂エマルジョンベイント塗りの塗替えの場合のみ ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをししめシーラーとする</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・高日射反射率塗料塗り G 下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ※RB種 ・ RA種 ・ RC種</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工程</td> <td>規格番号</td> <td>規格名称</td> <td>等級</td> </tr> <tr> <td>規格番号</td> <td>規格名称</td> <td>等級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>射反射率塗料</td> <td>2種</td> </tr> <tr> <td>JIS K 5675</td> <td>射反射率塗料</td> <td>2種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する (着色剤: ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステン塗りの工程等</td> <td>塗料塗り</td> <td>規格番号</td> <td>規格名称</td> </tr> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>規格番号</td> <td>規格名称</td> </tr> </table>	素地面	塗装の種類	塗替え	錆止め塗料塗りの種別	錆止め塗料の種類	鉄鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.3)	塗替え 新規見え隠れ	※A種 ※B種	A種 A種	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え 新規見え隠れ	※C種 ※B種	※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面	DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え 新規	※B種 ※A種	7.4.2 (1) (4) (b) による 7.4.2 (1) (4) (a) による	SOP (工程の種別は表7.4.5)	塗替え 鋼製建具等 その他	※C種 ※A種 ・ C種	※A種 ・ B種 ※A種 ・ B種 塗りB種の場合 塗りA種又はC種の場合 ※A種 ・ B種	鉄鋼面	EP-G (工程の種別は表7.4.5)	塗替え 新規鋼製建具等 その他	※C種 ※A種 ・ C種	C種	DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え 新規	改修標準仕様書 表7.4.6による	B種	塗装の種類	塗装面	塗替え	新規	○合成樹脂塗合ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	塗装の種類	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種	※1種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種	・クリヤラッカー塗り (DL)		※B種 ・A種 (着色塗料の種類:)	※B種 ・A種 (着色塗料の種類:)	○アクリル樹脂系非分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	改修標準仕様書	改修標準仕様書	改修標準仕様書	・耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 () 級	7.8.2による	7.8.2による	重鉛めっき鋼面	改修標準仕様書	改修標準仕様書	・コンクリート面及び押出成形セメント板面	上塗り等級 () 級	7.8.3による	7.8.3による	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種	○つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種	屋内の木部	※B種	※A種	・合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種	A種	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	○木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	○2液形アクリルシリコン樹脂エマルジョン塗り (2-ASE)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (コンクリート面、木部面、せつこうボード面、その他) の塗替えの場合のみ ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをししめシーラーとする	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種	合成樹脂エマルジョンベイント塗りの塗替えの場合のみ ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをししめシーラーとする	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種	・高日射反射率塗料塗り G 下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ※RB種 ・ RA種 ・ RC種	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種	工程	規格番号	規格名称	等級	規格番号	規格名称	等級	塗料塗り	JIS K 5675	射反射率塗料	2種	JIS K 5675	射反射率塗料	2種	クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する (着色剤: ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステン塗りの工程等	塗料塗り	規格番号	規格名称	塗料塗り	規格番号	規格名称
素地面	塗装の種類	塗替え	錆止め塗料塗りの種別	錆止め塗料の種類																																																																																																																																																																			
鉄鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.3)	塗替え 新規見え隠れ	※A種 ※B種	A種 A種																																																																																																																																																																			
	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え 新規見え隠れ	※C種 ※B種	※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種																																																																																																																																																																			
亜鉛めっき鋼面	DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え 新規	※B種 ※A種	7.4.2 (1) (4) (b) による 7.4.2 (1) (4) (a) による																																																																																																																																																																			
	SOP (工程の種別は表7.4.5)	塗替え 鋼製建具等 その他	※C種 ※A種 ・ C種	※A種 ・ B種 ※A種 ・ B種 塗りB種の場合 塗りA種又はC種の場合 ※A種 ・ B種																																																																																																																																																																			
鉄鋼面	EP-G (工程の種別は表7.4.5)	塗替え 新規鋼製建具等 その他	※C種 ※A種 ・ C種	C種																																																																																																																																																																			
	DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え 新規	改修標準仕様書 表7.4.6による	B種																																																																																																																																																																			
塗装の種類	塗装面	塗替え	新規																																																																																																																																																																				
○合成樹脂塗合ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																																																																																																				
	木部屋内	※B種	※B種																																																																																																																																																																				
塗装の種類	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種																																																																																																																																																																				
※1種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																																																																																																				
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																																																																																																				
・クリヤラッカー塗り (DL)		※B種 ・A種 (着色塗料の種類:)	※B種 ・A種 (着色塗料の種類:)																																																																																																																																																																				
○アクリル樹脂系非分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	改修標準仕様書	改修標準仕様書	改修標準仕様書																																																																																																																																																																				
・耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 () 級	7.8.2による	7.8.2による																																																																																																																																																																				
	重鉛めっき鋼面	改修標準仕様書	改修標準仕様書																																																																																																																																																																				
・コンクリート面及び押出成形セメント板面	上塗り等級 () 級	7.8.3による	7.8.3による																																																																																																																																																																				
	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種																																																																																																																																																																				
○つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																																																																																																				
・合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種	A種																																																																																																																																																																				
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
○木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
○2液形アクリルシリコン樹脂エマルジョン塗り (2-ASE)	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (コンクリート面、木部面、せつこうボード面、その他) の塗替えの場合のみ ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをししめシーラーとする	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
合成樹脂エマルジョンベイント塗りの塗替えの場合のみ ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをししめシーラーとする	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
・高日射反射率塗料塗り G 下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ※RB種 ・ RA種 ・ RC種	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																				
工程	規格番号	規格名称	等級																																																																																																																																																																				
	規格番号	規格名称	等級																																																																																																																																																																				
塗料塗り	JIS K 5675	射反射率塗料	2種																																																																																																																																																																				
	JIS K 5675	射反射率塗料	2種																																																																																																																																																																				
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する (着色剤: ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステン塗りの工程等	塗料塗り	規格番号	規格名称																																																																																																																																																																				
	塗料塗り	規格番号	規格名称																																																																																																																																																																				
改修特記仕様書 構造関係 による 6章 耐震改修工事	8																																																																																																																																																																						


<input type="radio"/> 石綿含有建材の調査 <input type="radio"/> 石綿含有建材の除去工事	<p>1章 石綿含有建材の調査による</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 [9.1.1、3~6]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> <tr> <td>・測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定2</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>セキユリティーゾーン入口</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室の場合)</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>敷地境界</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td></td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定6</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td></td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定7</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td></td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td></td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定9</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td></td> <td>・計 点</td> </tr> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td></td> </tr> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3 (2) (7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有保温材等 (石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む) の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 ・破砕して除去 ・ 手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) ○石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種) の除去 除去対象範囲 ・図示による 隔離養生 (負圧不要) 方法 ・図示による ○ビニールシート養生 足場 ・図示による ○脚立足場 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 ・埋立処分 (安定型最終処分場) ○中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) ○石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外) の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せつこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ○石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分 (安定型最終処分場) ○中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有仕上げ材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 養生方法 ・除去した石綿含有仕上げ材の処分 ・埋立処分 (安定型最終処分場) ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示による 改修特記仕様書3章による。 [9.2.2~3]</p>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	・測定1	処理作業前	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計 点	・測定2	処理作業中	処理作業室内	セキユリティーゾーン入口	・計 点	・測定3	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置	・計 点	・測定4	処理作業中	処理作業室内	敷地境界	・計 点	・測定5	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内		・計 点	・測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内		・計 点	・測定7	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内		・計 点	・測定8	処理作業後 (シート撤去後)	調査対象室外部の付近		・計 点	・測定9	処理作業後 (シート撤去後)	調査対象室外部の付近		・計 点	測定名称	測定方法	・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定5		測定名称	メンブレンフィルタ	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	・測定4	25	5	30	・測定5	47	10	120	・測定	47	10	240	・測定				・測定			
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																													
・測定1	処理作業前	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計 点																																																																													
・測定2	処理作業中	処理作業室内	セキユリティーゾーン入口	・計 点																																																																													
・測定3	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置	・計 点																																																																													
・測定4	処理作業中	処理作業室内	敷地境界	・計 点																																																																													
・測定5	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内		・計 点																																																																													
・測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内		・計 点																																																																													
・測定7	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内		・計 点																																																																													
・測定8	処理作業後 (シート撤去後)	調査対象室外部の付近		・計 点																																																																													
・測定9	処理作業後 (シート撤去後)	調査対象室外部の付近		・計 点																																																																													
測定名称	測定方法																																																																																
・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																
・測定5																																																																																	
測定名称	メンブレンフィルタ	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																														
・測定4	25	5	30																																																																														
・測定5	47	10	120																																																																														
・測定	47	10	240																																																																														
・測定																																																																																	
・測定																																																																																	
断熱アスファルト 防水改修工事	9																																																																																

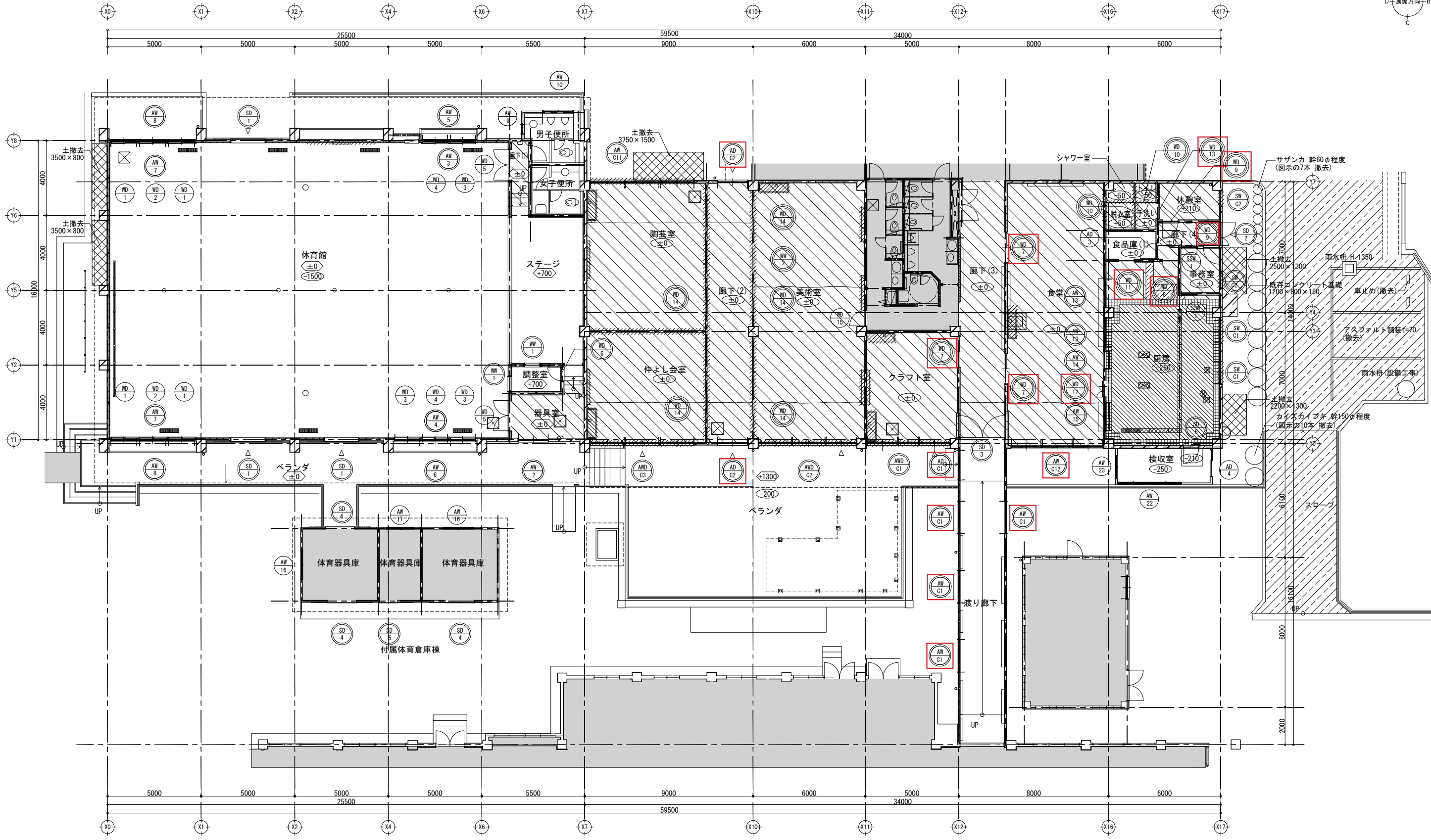
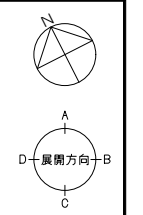
既存内部仕上げ														改修後内部仕上げ																
階	室名	下地	床	改修内容	下地	幅木	H	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	天井高	備考	室名	下地	床	改修内容	下地	幅木	H	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	天井高	備考
1階	調整室	S	フローリング	F S	WB OS	100	C	S	合板 t=12 OP	C S	合板 t=12 EP	V C	2,500		調整室	S	フローリング	f S	VB	100	c	S	GB-Rt=12.5+9.5 EP-G	c S	GB-D t=9.5 天井化粧材(天井内) (天井落下防止工法)	V d	2,500			
	廊下(1)	C	モルタル下地 塗床	A S	WB OS	100	E	S	合板 t=12 OP	E S	GB-D t=9.5 一部撤去	V C	2,650	タラップ(撤去)	廊下(1)	M	セルフレベリング材下地 FS (A)	c S	WB OS VB	100	e	S	合板 t=12 WP-C 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-Rt=12.5 EP-G	e S	GB-D t=9.5 天井化粧材(天井内) (天井落下防止工法)	V d	2,650	スライドタラップ(新設)		
	男子便所	C	モルタル下地 FS	F C	床材立上げ	100	F	C	タイル張り	F S	GB-Nct=9.5+DRt=9	V C	2,400		男子便所	C	モルタル下地 FS	f C	床材立上げ	100	f	C	タイル張り	f S	断熱材-B(一部) GB-Nct=9.5+DRt=9 天井化粧材(天井内) (天井落下防止工法)	V d	2,400			
	女子便所	C	モルタル下地 FS	F C	床材立上げ	100	F	C	タイル張り	F S	GB-Nct=9.5+DRt=9	V C	2,400		女子便所	C	モルタル下地 FS	f C	床材立上げ	100	f	C	タイル張り	f S	GB-Nct=9.5+DRt=9 天井化粧材(天井内) (天井落下防止工法)	V d	2,400			
	仲よし会室	C	モルタル下地 FS	A C	VB W VB	60	B	C	モルタル下地 EP ラワン合板t=5.5EP	B S	ラワン合板t=5.5EP	V C	3,000	人研流し(撤去) カーテンBOX(撤去) カーテンレール(撤去)	作業学習室(1)	M	Uカットシール材充填工法(一部) セルフレベリング材下地 KT	c C	VB S VB	60	b	C	モルタル下地 ビニルクロス 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス	b d	S	断熱材-B DRt=9.0 直貼り	V c	2,750	SUS流し(新設) ホワイトボード(新設) カーテンBOX(新設) 天井点検口(新設) ライニング(新設)	
	陶芸室	C	モルタル下地 FS	A C	VB W VB	60	B	C	モルタル下地 EP ラワン合板t=5.5EP	B S	ラワン合板t=5.5EP	V C	3,000	人研流し(撤去) ホワイトボード(撤去) カーテンBOX(撤去) カーテンレール(撤去)	作業学習室(2)	M	Uカットシール材充填工法(一部) セルフレベリング材下地 KT	c C	VB S VB	60	b	C	モルタル下地 ビニルクロス 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス	b d	S	断熱材-B DRt=9.0 直貼り	V c	2,750	SUS流し(新設) ホワイトボード(新設) カーテンBOX(新設) 天井点検口(新設) ライニング(新設)	
	美術室	C	モルタル下地 FS	A C	VB W VB	60	B	C	モルタル下地 EP ラワン合板t=5.5EP	B S	ラワン合板t=5.5EP	V C	3,000	人研流し(撤去) スチール黒板(撤去) カーテンBOX(撤去) カーテンレール(撤去)	美術室(1)	M	Uカットシール材充填工法(一部) セルフレベリング材下地 KT	c C	VB S VB	60	b	C	モルタル下地 ビニルクロス 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス	b d	S	断熱材-B DRt=9.0 直貼り	V c	2,750	SUS流し(新設) ホワイトボード(新設) カーテンBOX(新設) 天井点検口(新設) ライニング(新設)	
															美術室(2)	M	Uカットシール材充填工法(一部) セルフレベリング材下地 KT	c C	VB S VB	60	b	C	モルタル下地 ビニルクロス 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス	b d	S	断熱材-B DRt=9.0 直貼り	V c	2,750	SUS流し(新設) ホワイトボード(新設) カーテンBOX(新設) 天井点検口(新設) ライニング(新設)	
	廊下(2)	C	モルタル下地 FS	A C	VB W VB	60	B	C	モルタル下地 EP ラワン合板t=5.5EP	B S	ラワン合板t=5.5EP	V C	3,000		廊下(2)	M	Uカットシール材充填工法(一部) セルフレベリング材下地 KT	c C	VB W VB	60	b	C	モルタル下地 ビニルクロス 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-R t=12.5+9.5 ビニルクロス GB-R t=12.5+9.5 ビニルクロス	b d	S	断熱材-B GB-D t=9.5	V c	2,750		
															倉庫	M	Uカットシール材充填工法(一部) セルフレベリング材下地 KT	c C	VB W VB	60	b	C	モルタル下地 ビニルクロス 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-R t=12.5+9.5 ビニルクロス GB-R t=12.5+9.5 ビニルクロス	b d	S	断熱材-B GB-D t=9.5	V c	2,750		
	クラフト室	C	モルタル下地 FS	A C	モルタルコテ押えVP	60	E	C	モルタル下地 EP	E C	アクリルリシン吹付	F		人研流し(撤去) スチール黒板(撤去) カーテンBOX(撤去) カーテンレール(撤去)	仲よし会室	M	セルフレベリング材下地 KT	c C	モルタルコテ押え NAD W VB	60	e	C	モルタル下地 ビニルクロス 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス	b d	S	断熱材-B DRt=9.0 直貼り	V c	2,820	SUS流し(新設) カーテンBOX(新設) 天井点検口(新設) ライニング(新設)	
	廊下(3)	C	モルタル下地 FS	F C	VB	60	F	C	モルタル下地 EP 一部木脚縁 羽目板	E F	GB-Rt=9.5+DRt=12	V C	2,620		廊下(3)	M	エポキシ樹脂低圧注入 セルフレベリング材下地 FS(A)	c C	VB	60	f	C	モルタルEP-G 一部木脚縁 羽目板	e f	S	断熱材-B GB-D t=9.5	V c	2,620	天井点検口(新設)	
	渡り廊下	C	モルタル下地 FS(防滑型)	F S	VB	100	A	W	合板 t=5.5 OP	A S	GB-D t=9.5	V C	2,600~ 2,635	天井点検口(撤去)	渡り廊下	M	セルフレベリング材下地 FS(防滑型)	c S	VB	100	a	W	断熱材-B 合板 t=12 掲示用クロス	a S	断熱材-B GB-D t=9.5	V c	2,600~ 2,635	天井点検口(新設)		
	食堂	C	モルタル下地 FS	A C	VB	60	A	C	モルタル下地 壁紙貼り	A S	GB-R t=9+壁紙貼り	V C	2,835	人研流し(撤去) ホワイトボード(撤去) 天井点検口(撤去) カーテンレール(撤去)	食堂	M	Uカットシール材充填工法(一部) セルフレベリング材下地 KT	c C	VB S VB	60	b	C	モルタル ビニルクロス 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス GB-R t=12.5+12.5 ビニルクロス	b d	S	断熱材-B DRt=9.0 直貼り GB-R t=12.5 EP-G	V c	2,835	SUS流し(新設) ホワイトボード(新設) カーテンBOX(新設) 天井点検口(新設) ライニング(新設)	
厨房	C	シンダーコンクリート下地(H=150) エポキシ樹脂塗床	C C	床材立上げ	250	A	C	モルタル下地 VP	E S	フレキシブルボードt=4 (アスベスト含有)VP	V C	2,885		厨房	C	セルフレベリング材下地 水性厚膜型特殊合成樹脂系塗床材 土間コンクリート下地 水性厚膜型特殊合成樹脂系塗床材	c C	床材立上げ	250	b	C	モルタル下地 EP-G 断熱材-B 軽量鉄骨下地 GB-S t=12.5+ケイ化板t=6.0 EP-G	e S	断熱材-B ケイ化板t=6.0 EP-G (突付工法)	V c	2,885	ライニング(新設) 天井点検口(新設)			
事務室	C	エポキシ樹脂塗床	A C	床材立上げ	60	E	C	モルタル下地 VP	E S	GB-R t=9 EP	V C	2,635		事務室	C	下地調整の上 FS(A)	a C	モルタルコテ押え NAD	60	e	C	モルタル下地 EP-G	e S	断熱材-B GB-D t=9.5	V c	2,635				

下地の区分欄の略号
C : コンクリート下地、コンクリートブロック下地、ALC下地、押出成型セメント板下地
S : 軽量鉄骨下地 鋼製床組み下地
W : 木造下地
P F : ポリスチレンフォーム床下地(床下地のみ)
S F : 鋼製根太組下地 M : モルタル金ゴテ

改修内容凡例(改修前)
既 A : 仕上げ撤去 D : 図示の下地共撤去
存 B : 図示の仕上げ撤去 E : 下地の調整
C : 下地共撤去 F : 既存のまま

改修内容凡例(改修後)
改 a : 仕上げ新設 d : 図示の下地共新設
修 b : 図示の仕上げ新設 e : 塗装の塗り替え
c : 下地共新設 f : 既存のまま

山梨大学施設・環境部				山梨大学(武田1(附特))校舎 (II期)改修設計業務		工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(II期)改修工事 仕上表(2)	
設計者 一級建築士登録 第32511号 湯本 春日		設計者 一級建築士登録 第32511号 湯本 春日		設計者 一級建築士登録 第32511号 湯本 春日		縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	
担当 小出		担当 小出		担当 小出		図面番号 A-03	



AW 1	整理番号 既存建具のまま 建具を示す	AW C1	既存建具 改修 (カバー工法、 塗装替え)の 建具を示す	AW 100	既存建具 撤去の建具を示す
○	建具記号				

※○○○はカバー工法の建具を示す
※その他 建具番号が振られていない建具は既存のままとす。

外	XXXX	補込み用土撤去範囲を示す
構	////	アスファルト舗装 表層の撤去範囲を示す
凡		

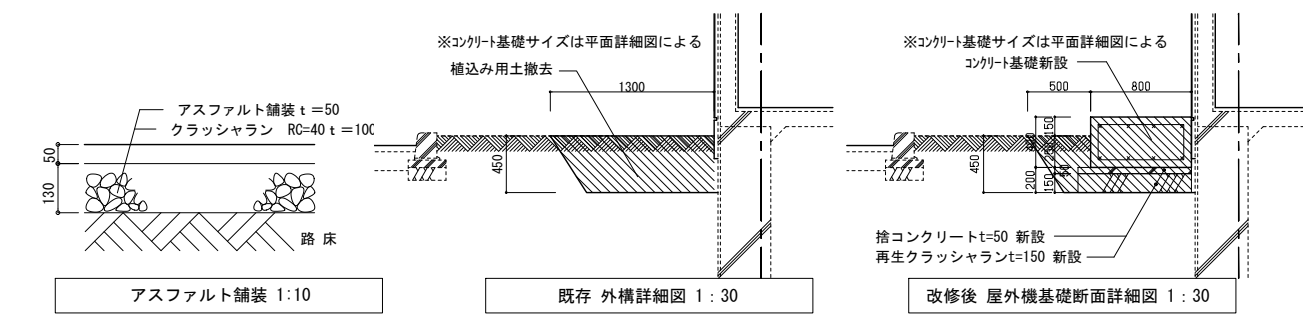
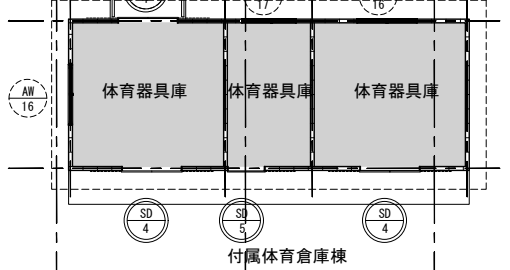
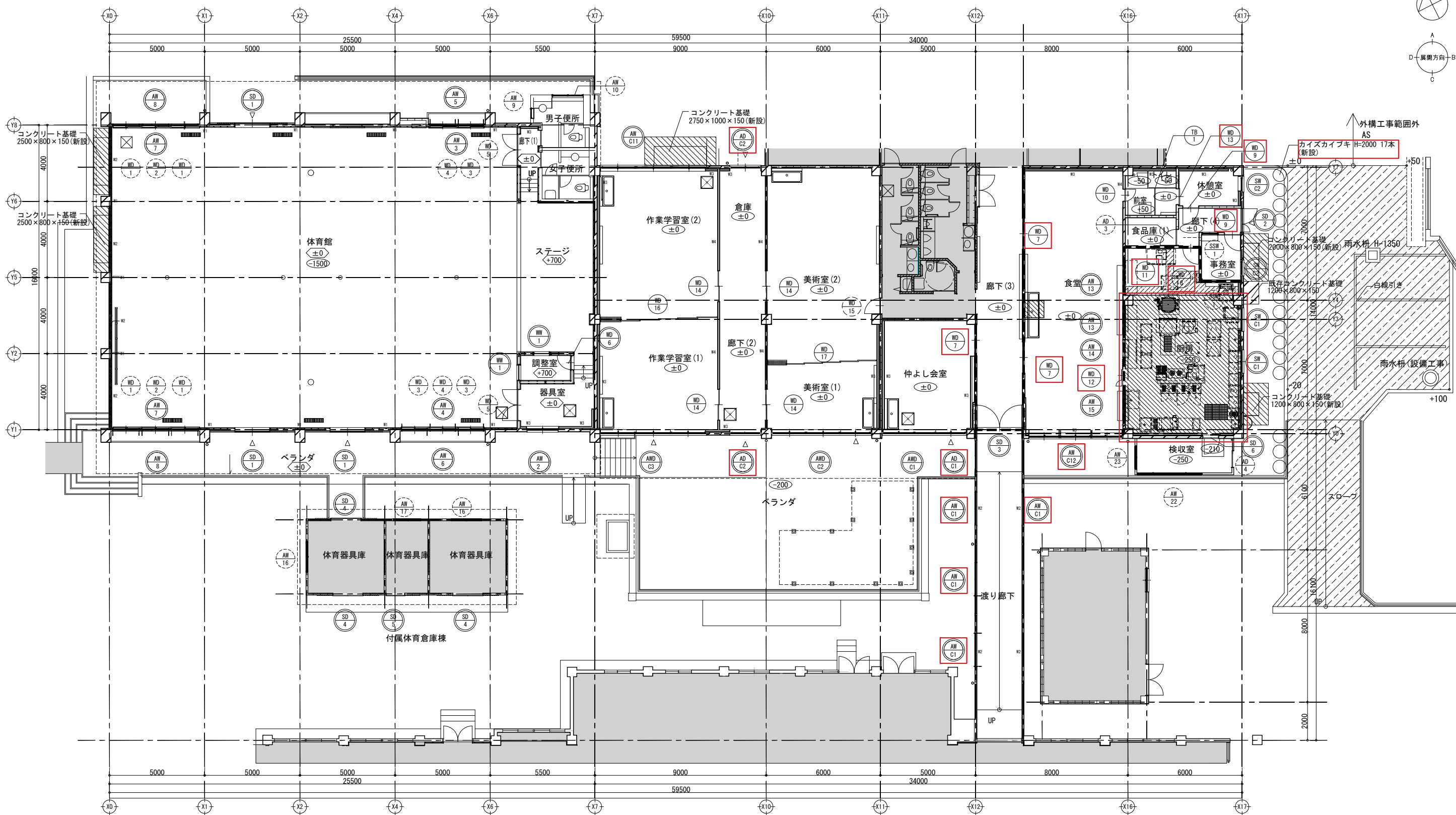
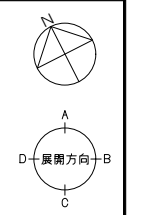
凡	コンクリート壁を示す	***	上段FLから仕上面までのレベル差を示す (下段FL~上段FL レベル差1.5m)	床 仕上げ 撤去範囲を示す	鉄筋ハツリ出し範囲を示す
例	コンクリートブロック壁を示す	***	下段FLから仕上面までのレベル差を示す	撤去部分を示す (その他は詳細図による)	仕上げ下地共撤去範囲を示す
	LGS	△	外部への出入口を示す	床下点検口の位置を示す	クラック補修位置を示す (その他は共通詳細図による)
	W		改修範囲外を示す	コンクリート撤去範囲を示す	

山梨大学施設・環境部
担当

ACA 株式会社
一級建築士事務所登録 (長野) 登録77312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男
〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026 (296) 8300

設計者 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎
(II期) 改修設計業務
設計者 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一

工事名 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (II期) 改修工事
1階平面図 (改修前)
縮尺 A1 : 1/100
A3 : 1/200
図面番号 A-05

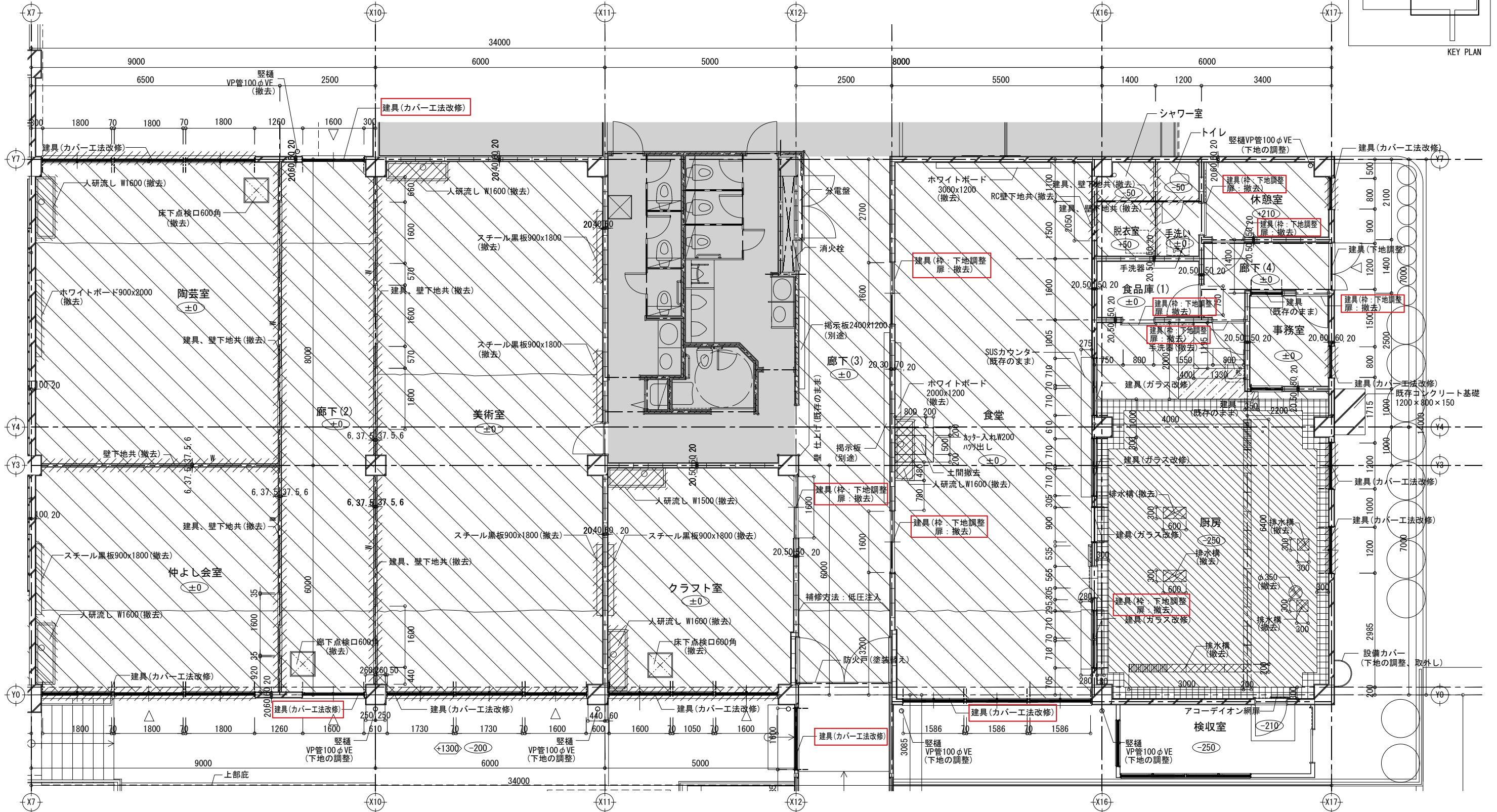
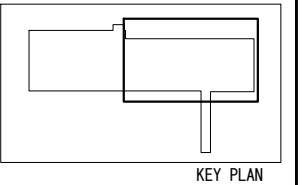
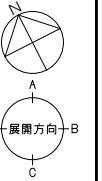


AW 1	整理番号 新設の 建具を示す 建具記号	AW C1	既存建具 改修 (カバー工法、 塗装替え)の 建具を示す	AW 1	整理番号 既存のままの 建具を示す 建具記号
------	------------------------------	-------	---------------------------------------	------	---------------------------------

※〇〇はカバー工法の建具を示す
※その他 建具番号が振られていない建具は既存のままとする。
※室名札の新設は別途工事とする。

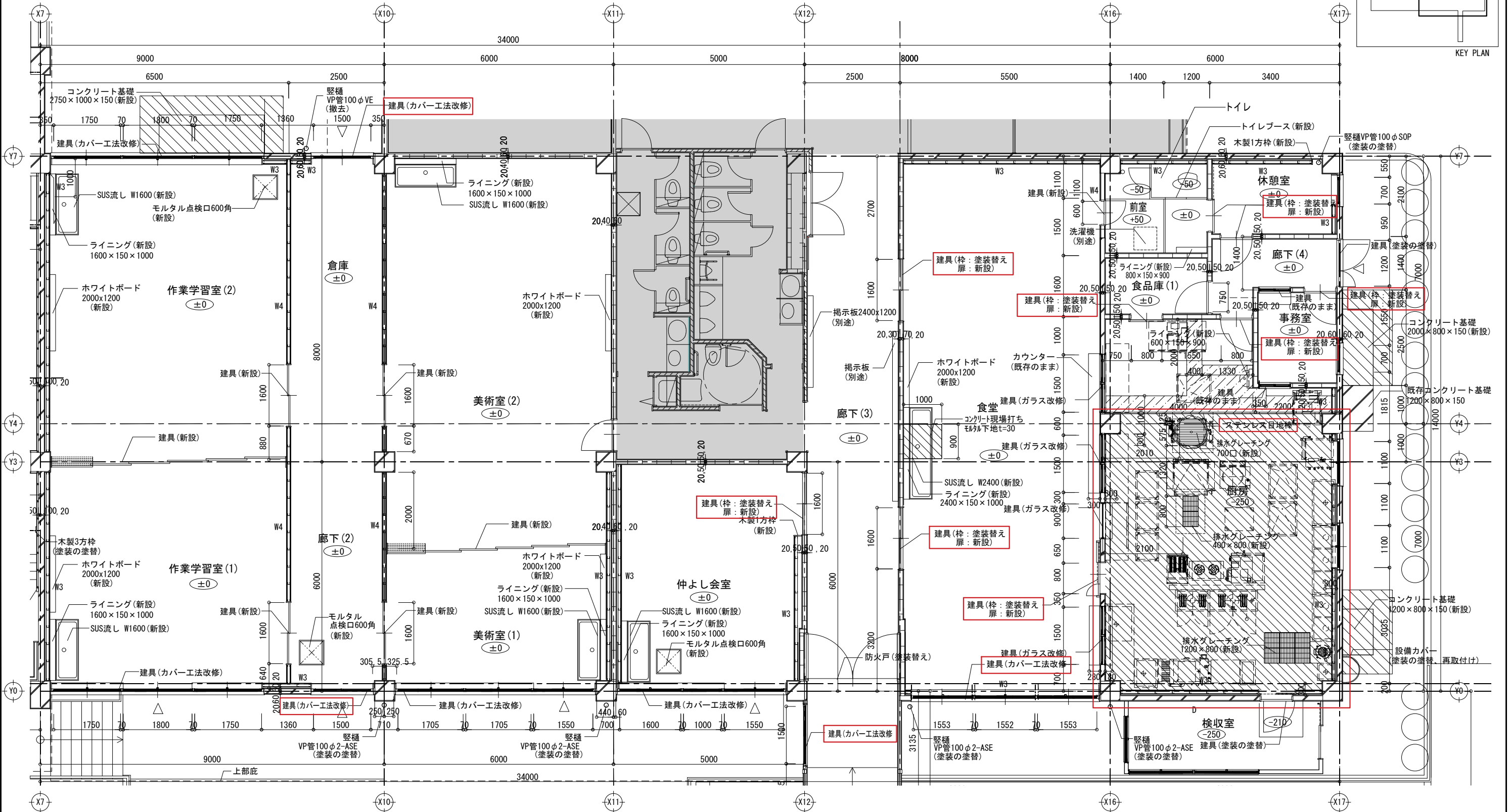
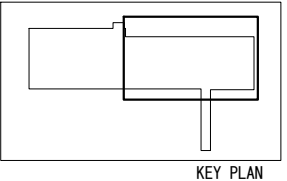
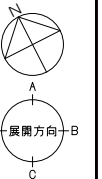
凡例	コンクリート壁を示す	***	下段凡から仕上面までのレベル差を示す	床下点検口の位置を示す	土間コンクリート(新設)範囲を示す
	コンクリートブロック壁を示す	***	上段凡から仕上面までのレベル差を示す (下段FL~上段FL レベル差1m)	アスファルト舗装 表層の撤去・ 新設範囲を示す(135m程度)	土間新設範囲を示す
	LGS 軽量鋼製下地壁を示す	△	外部への出入口を示す	コンクリート新設範囲を示す	防火上主要な間仕切 114条区画を示す。
	W※ 新設壁を示す※は壁記号(共通詳細図参照)	改修範囲外を示す	*** レベルを示す		

山梨大学施設・環境部		ACE 株式会社 一級建築士事務所登録(長野) 事務所 77312号 管理棟 長野市 2360 番地 4 電話 026(296)8300 〒381-0012 長野市 柳原 2360 番地 4		設計 山梨大学(武田1(附特))校舎 (Ⅱ期)改修設計業務 設計者 氏名 春日 仁一 設計者 氏名 春日 仁一	工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修工事 平面図(改修後) 図面番号 A1: 1/100 A3: 1/200 A-06
------------	--	---	--	---	--

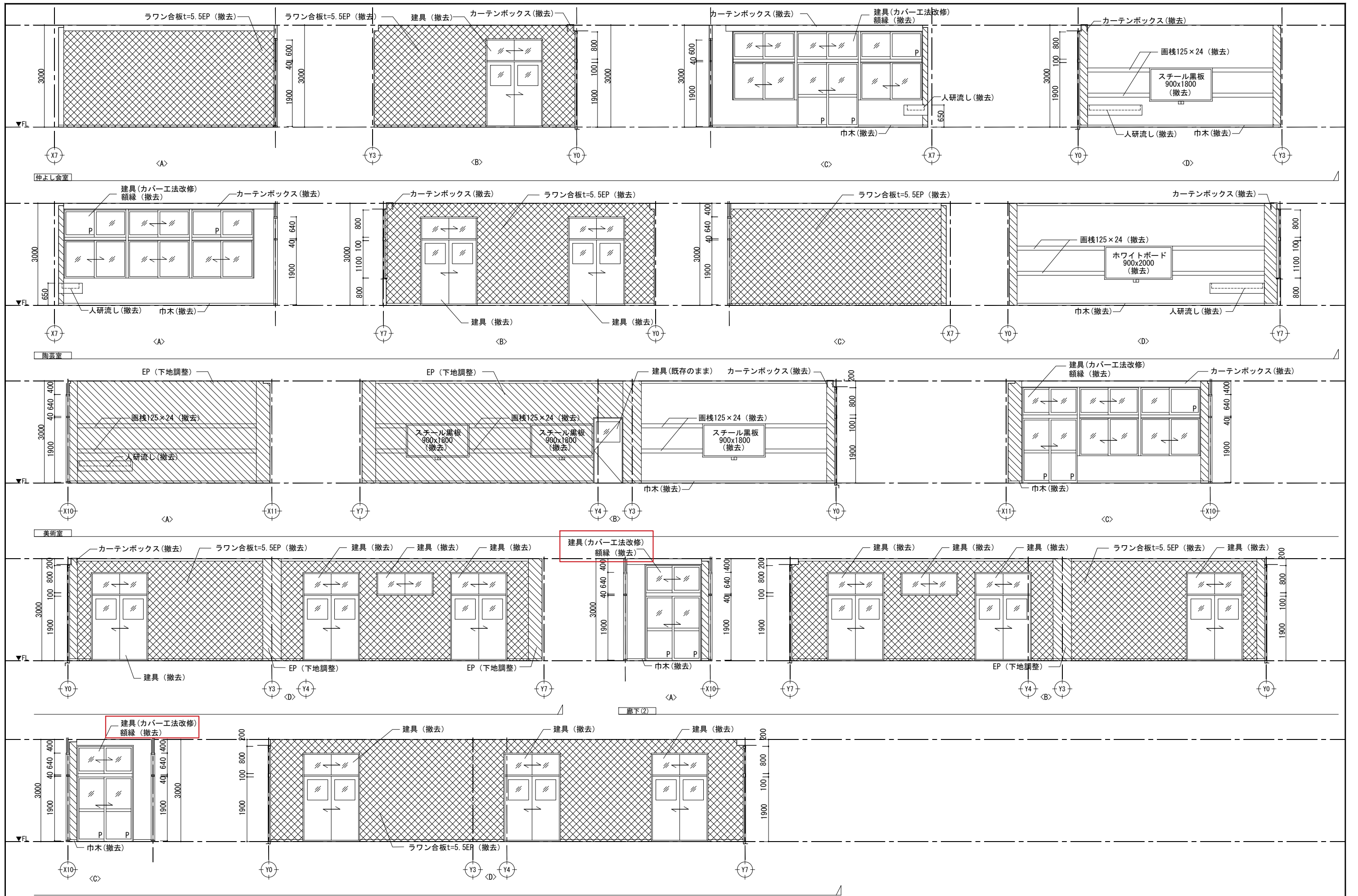


凡例		コンクリート壁を示す		下段FLから仕上面までのレベル差を示す		床 仕上げ 撤去範囲を示す		コンクリート撤去範囲を示す	担当
		コンクリートブロック壁を示す		上段FLから仕上面までのレベル差を示す (下段FL~上段FL レベル差1m)		撤去部分を示す (その他は詳細図による)		鉄筋ハツリ出し範囲を示す	
例		軽量鋼製下地壁を示す		外部への出入口を示す		床下点検口の位置を示す		仕上げ下地共撤去範囲を示す	山梨大学施設・環境部
		木下地壁を示す		改修範囲外を示す		クラック補修位置を示す (その他は共通詳細図による)			

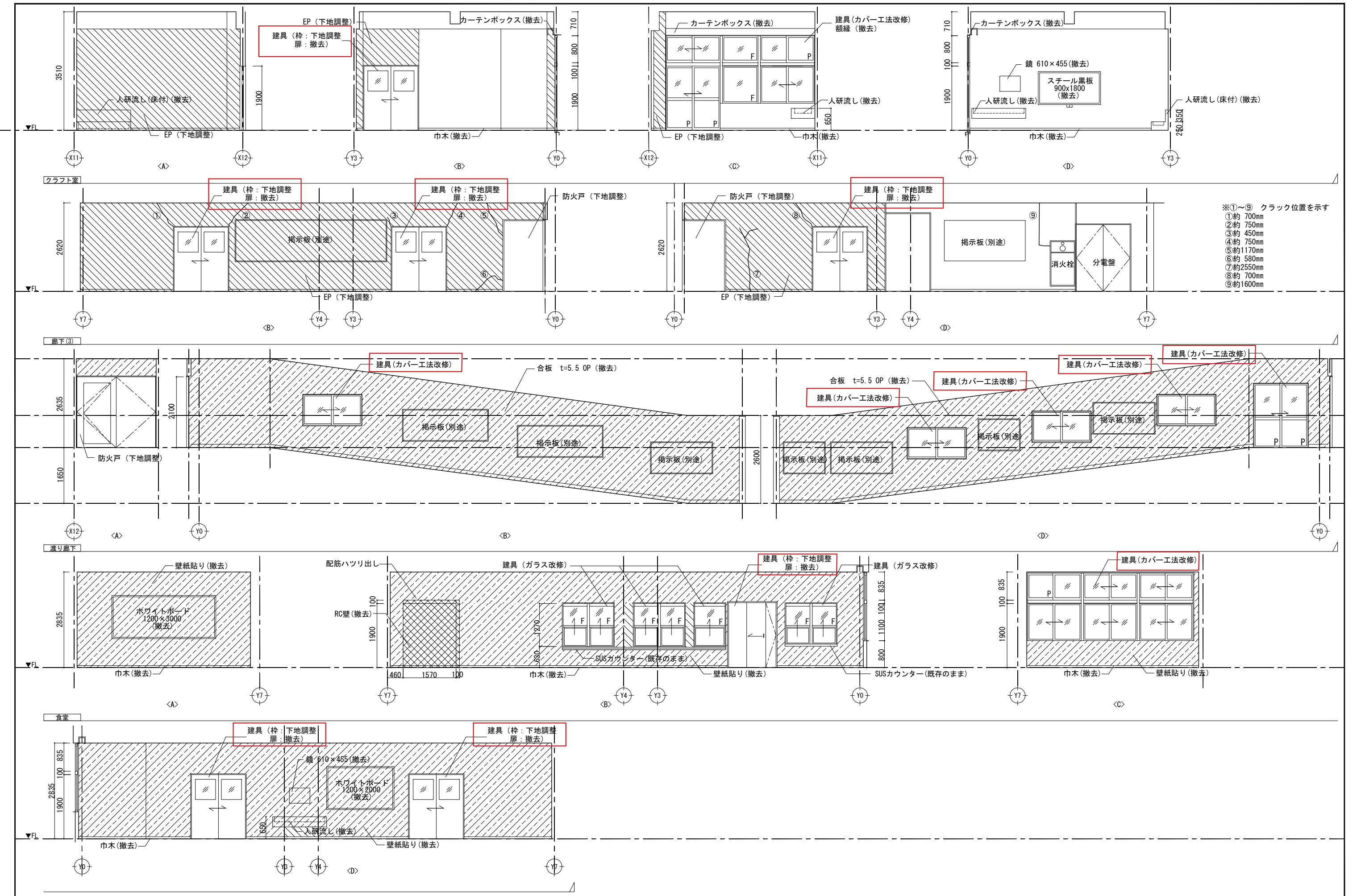
山梨大学施設・環境部 <small>一般建築士事務所登録(長野) 長野7312号 事務所 長野市上野原2-1-1 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩男 〒381-0012 長野市細路2360番地4 TEL. 026(296)8300</small>				山梨大学(武田1(附特))校舎(II期)改修工事 平面詳細図(3) (改修前)	
設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (II期)改修設計事務所 設計者 一級建築士登録 氏名 第323511号 春日 仁一	図面名 山梨大学(武田1(附特))校舎(II期)改修工事 平面詳細図(3) (改修前)	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 A-18	設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (II期)改修設計事務所 設計者 一級建築士登録 氏名 第323511号 春日 仁一	図面番号 A-18



凡例		コンクリート壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)		下段FLから仕上面までのレベル差を示す	担当	山梨大学施設・環境部	ACA 株式会社 一級建築士事務所登録(長野) 第7312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩男 〒381-0012 長野市穂原2360番地4 TEL. 026(296)8300 設計体制及び検査 検査員 設計担当 担当者 湯本 春日 小出	山梨大学(武田1(附特))校舎 (II期)改修設計業務 設計者 氏名 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一	山梨大学(武田1(附特))校舎(II期)改修工事 平面詳細図(3) (改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 A-19
		コンクリートブロック壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)		上段FLから仕上面までのレベル差を示す(下段FL~上段FL レベル差1m)						
例		軽量鋼製下地壁を示す(下地は既存のままとし、表面の仕上げを改修)		外部への出入口を示す	土間コンクリート(新設)範囲を示す 土間新設範囲を示す					
		新設壁を示す※は壁記号(共通詳細図参照)		改修範囲外を示す						

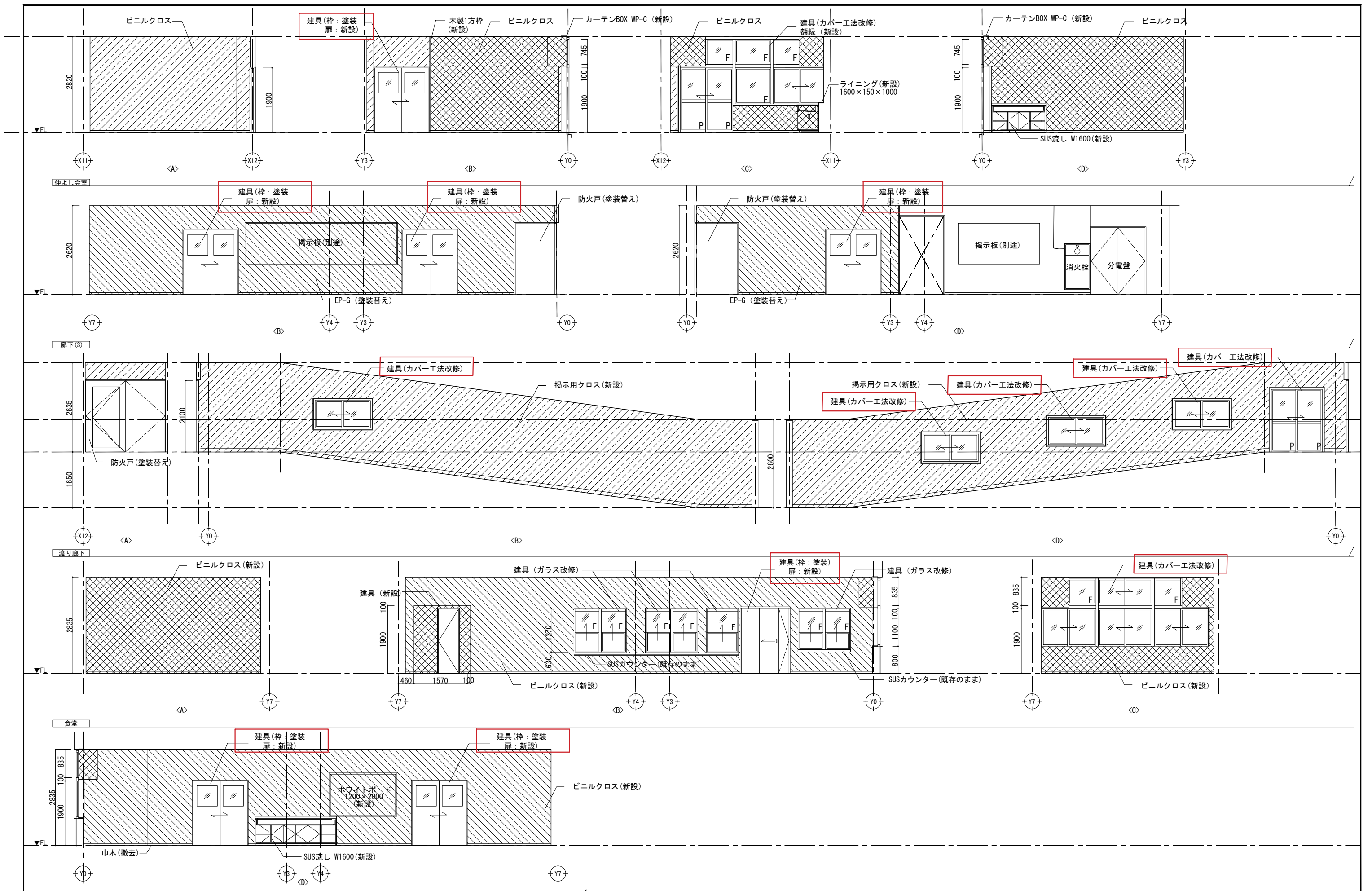


凡例		仕上げ下地共撤去	山梨大学施設・環境部	ACA 株式会社 一級建築士事務所登録 (長野) 登録77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300 設計体制及び検査	設計 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (Ⅱ期) 改修設計業務 業務名 設計者 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一	工事名 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (Ⅱ期) 改修工事 図面名 展開図 (3) (改修前) 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	図面番号 A-27
		下地の調整					
		既存のまま					
		仕上げ撤去					



- ※①～⑨ クラック位置を示す
- ①約 700mm
 - ②約 750mm
 - ③約 450mm
 - ④約 750mm
 - ⑤約 1170mm
 - ⑥約 580mm
 - ⑦約 2550mm
 - ⑧約 700mm
 - ⑨約 1600mm

凡例		仕上げ下地共撤去	山梨大学施設・環境部	ACA 株式会社 一級建築士事務所登録(長野) 事務所 77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300 設計体制及び検査 検査員 設計担当 担当 担当 湯本 春日 小出 丸山	設計 山梨大学(武田1(附特))校舎 業務名 (Ⅱ期)改修設計業務 設計者 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一	工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修工事 図面名 展開図(4)(改修前) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 A-29
		下地の調整					
例		既存のまま	担当				
		仕上げ撤去					



凡例		仕上げ+下地新設
		塗装の塗替
		既存のまま
		仕上げ新設

山梨大学施設・環境部

担当

ACA アールエーエー **エーエーエー**

一級建築士事務所登録(長野) 昭野77312号
 専理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男
 〒381-0012 長野市細原2560番地4 TEL 026(296)8300

設計体制及び検査
 検査員 設計担当 担当者 担当者
 責任者 湯本 春日 小出 丸山

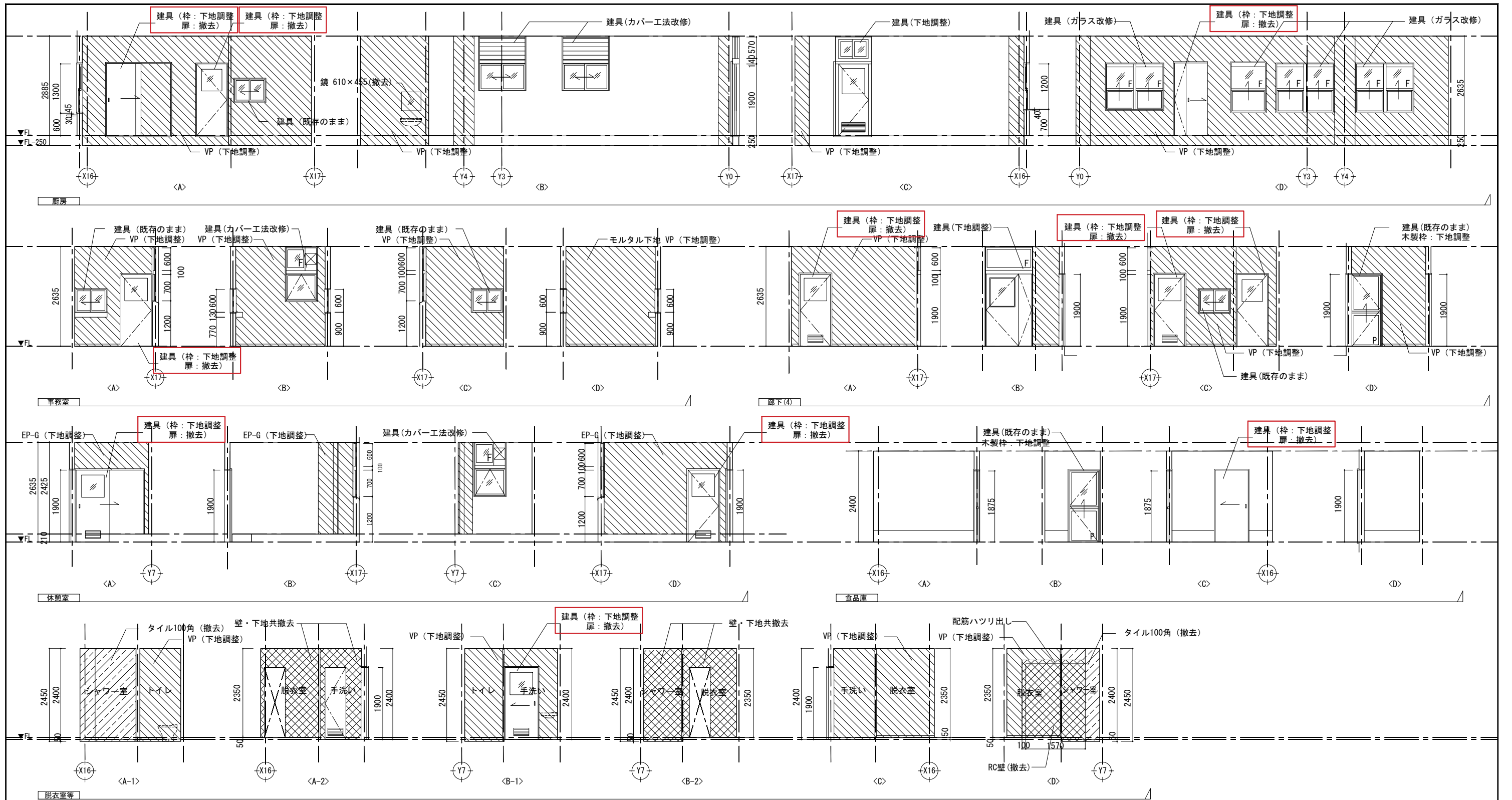
設計業務名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修設計業務

設計者氏名 一級建築士登録 第323511号 春日 C-

工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修工事
 展開図(4)(改修後)

図面番号 A1: 1/50
 A3: 1/100

図面番号 A-30



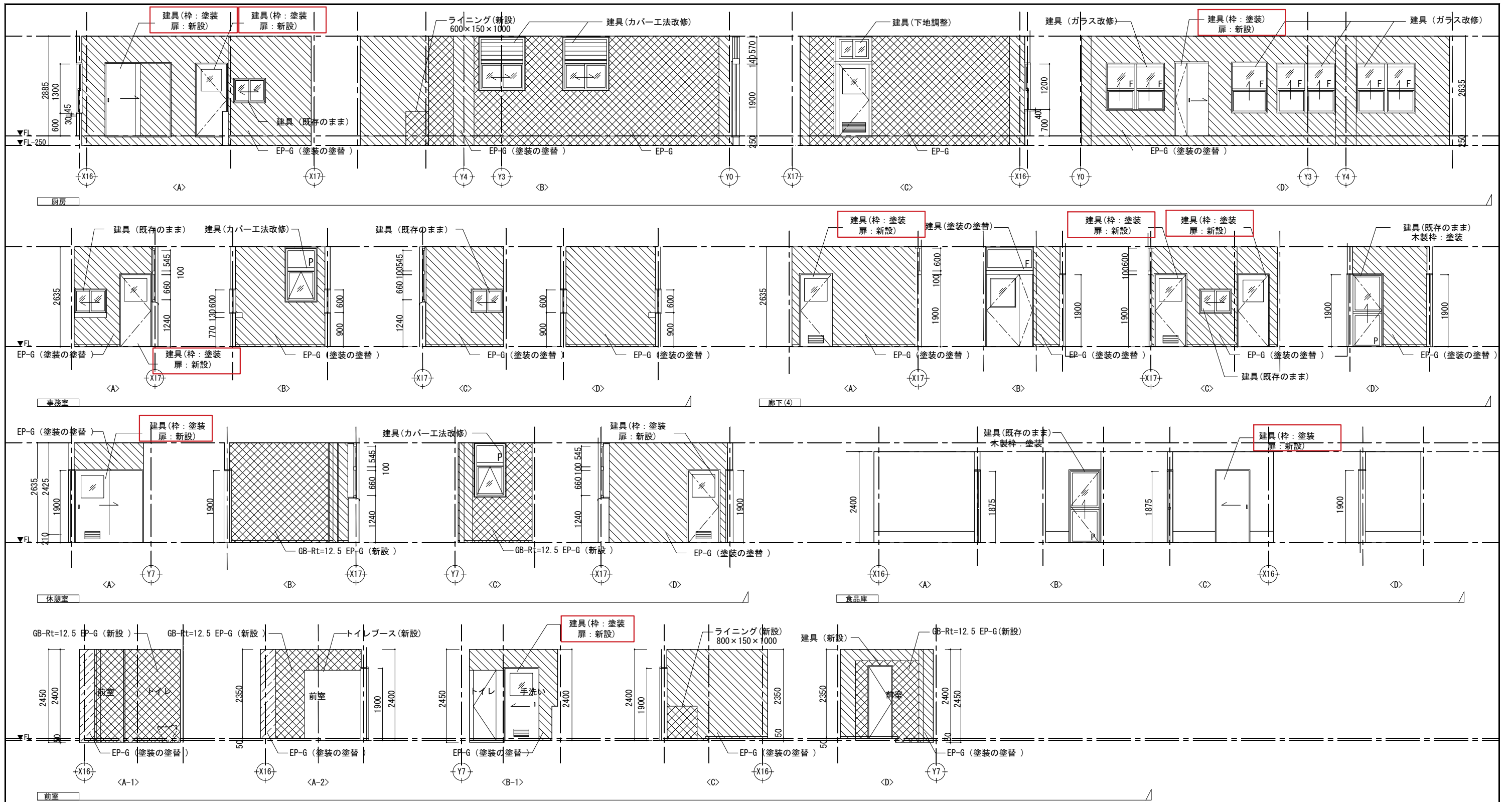
凡例		仕上げ下地共撤去
		下地の調整
		既存のまま
		仕上げ撤去

担当	山梨大学施設・環境部
----	------------

設計	山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修設計業務
設計者	一級建築士登録 春日 仁一
設計者氏名	春日 仁一

工事名	山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修工事
図面名	展開図(5)(改修前)
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100
図面番号	A-31

設計	山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修設計業務
設計者	一級建築士登録 春日 仁一
設計者氏名	春日 仁一



凡例		仕上げ+下地新設			山梨大学施設・環境部	ACA 株式会社 一級建築士事務所登録(長野) 長野77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300 設計体制及び検査 検査員 設計担当 担当者 湯本 春日 小出 丸山	設計業務名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修設計業務 設計者 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一 図面番号 A1: 1/50 A3: 1/100	工率名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修工事 展開図(5)(改修後) 縮尺
		塗装の塗替						
		既存のまま						
		仕上げ新設						

建具凡例	整理番号 既存建具のまま 建具を示す
	整理番号 既存建具 改修 (カバー工法、 塗装替え)の 建具を示す
	整理番号 既存建具 撤去の建具を示す

外部建具

建具番号	形式・大きさ	個数	網戸の有無	ガラス
AWDC1	図示による	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AWDC2	"	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AWDC3	"	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AW C1	"	4	無	網入り透明ガラス6.8mm
AW 2	"	1	無	フロートガラス3mm
AW 3	"	1	無	フロートガラス3mm
AW 4	"	1	無	フロートガラス3mm
AW 5	"	1	無	フロートガラス3mm
AW 6	"	1	無	フロートガラス3mm
AW 7	"	2	無	フロートガラス3mm
AW 8	"	2	無	フロートガラス3mm
AW 9	"	1	無	型板ガラス5mm
AW 10	"	1	有	型板ガラス5mm
AW C11	"	1	有	型板ガラス3mm
AW C12	"	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AW 16	"	2	無	網入り透明ガラス6.8mm
AW 17	"	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
AW 18	"	1	無	フロートガラス3mm
AW 19	"	1	無	フロートガラス3mm
AW 20	"	1	無	フロートガラス3mm
AW 21	"	1	無	フロートガラス3mm
AW 22	"	1	有	型板ガラス3mm
AW 23	"	1	有	型板ガラス3mm

建具番号	形式・大きさ	個数	網戸の有無	ガラス
AD C1	図示による	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
AD C2	"	2	無	網入り透明ガラス6.8mm
AD 4	"	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
SD 1	"	3	無	網入り透明ガラス6.8mm
SD 2	"	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
SD 3	"	1	無	-
SD 4	"	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
SD 5	"	2	無	網入り透明ガラス6.8mm
SD 6	"	3	無	型板ガラス3mm
SW C1	"	2	無	フロートガラス3mm
SW C2	"	2	無	型板ガラス3mm
SG1	"	4	無	-

内部建具

建具番号	形式	個数	幅(mm)	高さ(mm)	ガラス	網戸の有無	備考
AW13	引上り窓	1	1490	1300	フロートガラス5mm	無	上部アルミパネル
AW14	引上り窓	1	900	1300	フロートガラス5mm	無	上部アルミパネル
AW15	引上り窓	1	1490	1200	フロートガラス5mm	無	上部アルミパネル
AD3	片開き戸	1	750	1900	フロートガラス5mm	無	引上り網戸
SSW1	引違い窓	2	800	600	フロートガラス5mm	無	
WW1	FIX窓	2	800	800	フロートガラス5mm	無	
WW2	引違い窓	1	1600	600	フロートガラス5mm	無	
WD1	引違い戸	4	1456	450	-	無	フラッシュ戸
WD2	引違い戸	2	1496	450	-	無	フラッシュ戸
WD3	引違い戸	3	1393	450	-	無	フラッシュ戸
WD4	引違い戸	2	1433	450	-	無	フラッシュ戸
WD5	両開き戸	2	1600	1900	-	無	フラッシュ戸
WD6	片開き戸	1	700	1900	フロートガラス2mm	無	
WD7	引違い戸	1	1600	1900	フロートガラス3mm	無	
WD8	片開き戸	1	800	1900	フロートガラス2mm	無	
WD9	片開き戸	1	800	1900	フロートガラス2mm	無	
WD10	片開き戸	1	550	1900	-	無	ガラリ
WD11	片引き戸	1	910	1900	-	無	フラッシュ戸
WD12	親子引き戸	1	1405	1925	-	無	フラッシュ戸、網戸
WD13	片引き戸	1	770	1900	フロートガラス5mm	無	ガラリ
WD14	欄間付 引違い戸	5	1600	2560	フロートガラス5mm	有	
WD15	片開き戸	1	900	1900	フロートガラス5mm	無	

P...アルミパネル部分を示す ※木製縁 共 撤去

記号	形式・数量 使用箇所	形状	記号	形式・数量 使用箇所	形状	記号	形式・数量 使用箇所	形状	記号	形式・数量 使用箇所	形状	記号	形式・数量 使用箇所	形状	記号	形式・数量 使用箇所	形状												
AWDC1	引違い戸+FIX窓+引違い窓 1 クラフト室		AWDC2	引違い窓+引違い戸 美術室		AWDC3	引違い窓+引違い戸 仲よし会室		AW C1	引違い窓 渡り廊下		AW 2	引違い窓 器具室		AW 3	引違い窓 体育館		AW 4	引違い窓 体育館										
AW 5	引違い窓 体育館		AW 6	引違い窓 体育館		AW 7	引違い窓 体育館		AW 8	引違い窓 体育館		AW 9	FIX窓 男子便所		AW 10	引違い窓 男子便所		AW C11	欄間付 引違い窓 陶芸室		AW C12	欄間付 引違い窓 食堂		AW 13	引上り窓 食堂		AW 14	引上り窓 食堂	
AW 15	引上り窓 食堂		AW 16	引違い窓 体育器具庫 (別棟)		AW 17	引違い窓 体育器具庫 (別棟)		AW 18	引違い窓+FIX窓 体育館 (ギャラリー)		AW 19	引違い窓+FIX窓 体育館 (ギャラリー)		AW 20	引違い窓+FIX窓 体育館 (ギャラリー)		AW 21	引違い窓+FIX窓 体育館 (ギャラリー)		AW 22	引違い窓 検収室		AW 23	引違い窓 検収室		AD C1	引違い戸 渡り廊下	
AD C2	欄間付 引違い戸 廊下 (2)		AD 3	片開き戸 食品庫		AD 4	片引き戸 検収室		SD 1	両引き戸 体育館		SD 2	親子戸 廊下		SD 3	防火戸 渡り廊下		SD 4	両引き戸 体育器具庫 (別棟)		SD 5	片引き戸 体育器具庫 (別棟)		SD 6	欄間付 片開き戸 厨房		SW C1	引違い窓+ガラリ 厨房	
SSW1	引違い窓 事務室		WW 1	FIX窓 調整室		WW 2	引違い窓 美術室		WD 1	引違い戸 体育館		WD 2	引違い戸 体育館		WD 3	引違い戸 体育館		WD 4	引違い戸 体育館		WD 5	両開き戸 体育館		WD 6	片開き戸 調整室				
WD 7	引違い戸 クラフト室、食堂		WD 8	片開き戸 厨房		WD 9	片開き戸 休憩室、事務室		WD 10	片開き戸 シャワー室、トイレ		WD 11	片引き戸 厨房		WD 12	親子引き戸 食堂		WD 13	片引き戸 休憩室		WD 14	欄間付 引違い戸 廊下 (2)		WD 15	片開き戸 美術室		SG1	ガラリ 体育館	

山梨大学施設・環境部

設計 業務名	山梨大学 (武田 1 (附特)) 校舎 (II期) 改修設計業務
設計 氏名	一級建築士登録 春日 仁一 第323511号

工事名	山梨大学 (武田 1 (附特)) 校舎 (II期) 改修工事 建具表 (改修前)
図面名	A1 : 1/100 A3 : 1/200

設計 業務名	山梨大学 (武田 1 (附特)) 校舎 (II期) 改修設計業務
設計 氏名	一級建築士登録 春日 仁一 第323511号
縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200
図面番号	A-33

担当

検査員	湯本 春日
設計者	春日 仁一
図面者	小出 小阪

凡例	1. 建具の種類と符号		2. ガラスの種類と符号		3. 仕上		特記事項				
	AWD1 AWD2 AWD3	WD 木製戸 SSD ステンレス製戸 SD 鋼製戸 LD 鋼製軽量戸 LHD 鋼製軽量吊戸(自閉式) SW 鋼製窓 SG 鋼製ガラリ SCW 鋼製カーテンウォール	SP ｽｰﾊﾟｰｲﾝﾊﾟｰﾈｼﾞｵﾝ SSS ステンレス製戸 SSW ステンレス製窓 SSG ステンレス製ガラリ SS 重量シャッター LS 軽量シャッター	FSS 防火重量シャッター AD アルミ製戸 AW アルミ製窓 AG アルミ製ガラリ ACW アルミ製カーテンウォール AP アルミ製ﾊﾟｰﾈｼﾞｵﾝ TB トイレブース	TS 耐火スクリーン (特定防火設備認定品) SM 防煙垂壁 MSH 可動式防煙垂壁 SLW 移動開閉仕切 (ｽﾗｲﾃﾞﾝｸﾞｰﾄﾞｰﾙ) GS ベンション GW ガラス窓	FL フロートガラス 型板ガラス R 熱線反射ガラス AR 熱線吸収反射板ガラス HR 高性能熱線反射ガラス 強化ガラス HS 強度ガラス L 合わせガラス		D 複層ガラス GB ガラスブロック PWL 線入透明ガラス 線入透明ガラス FR フロストガラス 学校用強化ガラス ※複層ガラス(A:空気層) ※LEは室外側とする	LE Low-Eガラス FT 型板強化ガラス PWC 網入透明ガラス FR フロストガラス 学校用強化ガラス C HL M	A アルミ酸化皮膜処理(ｼﾙﾊﾞｰ) AC アルミ電解着色処理(ｸﾞﾗｰ) EP-G 艶有合成樹脂エマルジョン F-BE フッ素樹脂焼付塗装 DP(1級) 耐候性塗料塗り C ビニルクロス貼り HL ヘアライン 鏡面	V バイブレーション P アルミ複合パネル t=4 木脚鋼板塗装(化粧鋼板) CL クリアラッカー MP メラミン化粧板 PP ポリエステル化粧板 NW 天然木脚付合装 PU ポリウレタン塗装 WP-C 木材保護塗料塗り(着色)
記号	形式・数量 使用箇所	AWD C1 1	AWD C2 1	AWD C3 1	AW C1 4	AW 2 1	AW 3 1	AW 4 1			
形状	カバー工法 	カバー工法 	カバー工法 	カバー工法 	カバー工法 	カバー工法 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 			
材料及見込	70	70	70	70	70	70	60	60			
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)			
硝子	LE5+A12+ST4	LE5+A12+ST4	LE5+A12+ST4	LE5+A12+ST4	LE5+A12+ST4	LE5+A12+ST4	ST4	ST4			
金物	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式			
付属品	網戸	網戸	網戸	網戸	網戸	網戸	-	-			
備考	P:アルミ複合パネル t=4	P:アルミ複合パネル t=4	P:アルミ複合パネル t=4	P:アルミ複合パネル t=4	P:アルミ複合パネル t=4	P:アルミ複合パネル t=4	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修			
記号	形式・数量 使用箇所	AW 5 1	AW 6 1	AW 7 2	AW 8 2	AW 9 1	AW 10 1	AW C11 1	AW C12 1	AW 13 2	AW 14 1
形状	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	△軒天 水切(新設) 	△軒天 水切(新設) 	カバー工法 	カバー工法 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修
材料及見込	60	60	60	60	60	70	70	70	70	70	70
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)
硝子	ST4	ST4	ST4	ST4	ST4	FT4	FT4	LE5+A12+ST4	LE5+A12+ST4	ST4	ST4
金物	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式
付属品	-	-	-	-	-	-	-	網戸	網戸	-	-
備考	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	水切 新設。ガラスをST4に改修	水切 新設。ガラスをST4に改修	P:アルミ複合パネル t=4	P:アルミ複合パネル t=4	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修
記号	形式・数量 使用箇所	AW 15 1	AW 16 2	AW 17 1	AW 18 7	AW 19 7	AW 20 1	AW 21 1	AW 22 1	AW 23 1	AW 24 1
形状	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修 	※ガラス: ST4に改修
材料及見込	70	70	70	60	60	60	60	60	70	70	70
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)
硝子	ST4	PWC6.8	PWC6.8	FL3	FL3	FL3	FL3	FL3	FL3	PWC6.8	PWC6.8
金物	付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式
付属品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修	ガラスをST4に改修
記号	形式・数量 使用箇所	AD C1 1	AD C2 2	AD 3 1	AD 4 1	SD 1 3	SD 2 1	SD 3 1	SD 4 3	SD 5 1	SD 6 1
形状	カバー工法 	カバー工法 	片引き戸 食品庫 	片引き戸 検収室 	両引き戸 体育館 	欄間付 親子戸 廊下(4) 	欄間付 親子戸 廊下(4) 	防火戸 渡り廊下 	両引き戸 体育器具庫(別棟) 	片引き戸 体育器具庫(別棟) 	欄間付 片引き戸 厨房
材料及見込	70	70	70	70	60	100	100	100	60	60	100
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	スチールt=1.6 SOP	スチールt=1.6 SOP(塗装の塗替)	スチールt=1.6 SOP(塗装の塗替)	スチールt=1.6 SOP(塗装の塗替)	スチールt=1.6 DP(塗装の塗替)	スチールt=1.6 DP(塗装の塗替)	スチールt=1.6 SOP(塗装の塗替)
硝子	LE5+A12+ST4	LE5+A12+ST4	F2	PWC6.8	ST4	PWC6.8	PWC6.8	PWC6.8	PWC6.8	PWC6.8	F4
金物	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	丁番、レバーハンドル、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	ハンガーレール、ガイドレール、戸車	丁番、DC、フランス落し	丁番、フロアヒンジ、ケースハンドル	ガイドレール、戸車、付属金物一式	ガイドレール、戸車、付属金物一式	ガイドレール、戸車、付属金物一式	丁番、DC、握り玉
付属品	-	-	網戸	網戸	-	-	-	-	-	-	-
備考	P:アルミ複合パネル t=4	P:アルミ複合パネル t=4	-	-	塗装塗替えSOP、ガラスをST4に改修	塗装塗替えSOP(枠共)	塗装塗替えSOP(枠共)	塗装塗替えSOP(枠共)	塗装塗替えSOP(枠共)	塗装塗替えSOP(枠共)	後付け網戸枠、塗装塗替えSOP(枠共)
記号	形式・数量 使用箇所	SW C1 2	SW C2 2	SSW 1 2	NW 1 2	SG 1 4					
形状	カバー工法 	カバー工法 	引出し窓 事務室 	FIX窓 調整室 	ガラリ 体育館(ギャラリ) 						
材料及見込	70	70	160	40	60						
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	SUS HL	集成材 WP-C(塗装の塗替)	スチールt=1.6 DP(塗装の塗替)						
硝子	LE5+A12+ST4	LE5+A12+ST4	FL5	FL5	-						
金物	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	クレセント(抗ウイルス仕様)、付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	-						
付属品	網戸	網戸	-	-	-						
備考	-	P:アルミ複合パネル t=4	-	-	-						

凡例	(AWD1) 新設の建具を示す	1. 建具の種類と符号				2. ガラスの種類と符号				3. 仕上				特記事項 ※ FはF1Xガラスを示す。 ※ ガラス押えはシール押えとする。
	(AWD-C1) 既存建具 改修(カバー工法、塗装替え)の建具を示す	WD 木製戸 WW 木製窓 SD 鋼製戸 LD 鋼製軽量戸 LHD 鋼製軽量吊戸(自閉式) SW 鋼製窓 SG 鋼製ガラリ SCW 鋼製カーテンウォール	SP 樹脂製パネーション SSD ステンレス製戸 SSW ステンレス製窓 SSG ステンレス製ガラリ SS 重量シャッター LS 軽量シャッター	FSS 防火重量シャッター AD アルミ製戸 AW アルミ製窓 AG アルミ製ガラリ ACW アルミ製カーテンウォール AP アルミ製パネーション TB トイレブース	TS 耐火スクリーン(特定防火設備認定品) SM 防煙垂壁 MSH 可動式防煙垂壁 SLW 移動間仕切り(スライディングウォール) カスベンション ガラス窓	FL フロートガラス F 型板ガラス R 熱線反射ガラス AR 熱線吸収反射ガラス HR 高性能熱線反射ガラス T 強化ガラス HS 倍強度ガラス L 合わせガラス	D 複層ガラス GB ガラスブロック PWL 線入透明ガラス FWL 線入型板ガラス AWL 熱線吸収線入型板ガラス PB 樹脂系合成樹脂板 B 防音合わせガラス DSHA 倍強度熱線吸収ガラス	LE Low-Eガラス FT 型板強化ガラス PWC 網入透明ガラス FR フロストガラス ST 学校用強化ガラス	A アルミ酸化皮膜処理(Anod)処理 AC アルミ電解着色処理(カラー) EP-G 艶有合成樹脂エマルジョン F-BE フッ素樹脂焼付塗装 DP(1級) 耐候性塗料塗り C ビニルクロス貼り HL ヘアライン M 鏡面	V バイブレーション P アルミ複合パネル t=4 WP 木調鋼板塗装(化粧鋼板) CL クリアラッカー MP メラミン化粧板 PP ポリエステル化粧板 NW 天然木調付色塗装 PU ホリウッド色塗装 WP-C 木材保護塗料塗り(着色)				
	(AWD2) 既存のままの建具を示す													

記号	形式・数量 使用箇所	WD1 引違い戸 1 体育館	WD2 引違い戸 2 体育館	WD3 引違い戸 3 体育館	WD4 引違い戸 2 体育館	WD5 両開き戸 2 体育館	WD6 片開き戸 調整室 1	WD7 引違い戸 仲よし会室、食堂 3	WD8 片開き戸 厨房 1	WD9 片開き戸 廊下(4) 2	WD10 片開き戸 食堂 1
形状											
材料及見込		38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
仕上		ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ
硝子		-	-	-	-	-	ST4	ST4	FL3	FL3	-
金物		引手	引手	引手	引手	丁番、DC、握り玉	丁番、DC、握り玉	引手、戸車	丁番、DC、握り玉	丁番、DC、握り玉	丁番、DC、レバーハンドル
付属品		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考							下地調整、枠：塗装、扉：シート貼り			ガラリ(600x200)	
記号	形式・数量 使用箇所	WD11 片引き戸 厨房 1	WD12 親子引き戸 食堂 1	WD13 片引き戸 休憩室 1	WD14 欄間付 引違い戸 廊下(2) 4	WD15 片開き戸 美術室(2) 1	WD16 欄間付 6連引戸 作業学習室(1) 1	WD17 上部開口 6連引戸 美術室(1) 1			
形状											
材料及見込		38	38	38	40	枠 200、扉 40	枠 285、扉 40	枠 285、扉 40			
仕上		ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ	ポリ化粧合板フラッシュ			
硝子		-	-	-	ST4、欄間：ST4	-	欄間：ST4	欄間：ST4			
金物		引手、付属金物一式	引手、付属金物一式	引手、付属金物一式	引手、クレセント、付属金物一式	引手、DC、レバーハンドル、付属金物一式	引手、SUSフラットレール、付属金物一式	引手、SUSフラットレール、付属金物一式			
付属品		-	アルミ製網戸、アルミ製網戸レール	-	-	-	-	-			
備考				ガラリ(600x200)							
記号	形式・数量 使用箇所	TB1 トイレブース 厨房トイレ 1									
形状											
材料及見込		40									
仕上		ポリエステル樹脂化粧板									
硝子		-									
金物		内開き錠(表示錠付)、非常時外開き用戸当り、付属金物一式									
付属品		-									
備考											

担当	山梨大学施設・環境部	株式会社 AEC 建築設計 一級建築士事務所登録(長野) 4077312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市御原2360番地4 TEL 026(296)8300	設計業務名 山梨大学(武田1(附特))校舎(II期)改修設計業務 設計者 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一 縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(II期)改修工事 図面名 建具表(2)(改修後) 図面番号 A-35		

<p>床 仕上げ改修部分 S=1/10</p>	<p>床 クラック改修部分 (KT) S=1/5</p>	<p>ビニル幅木 (ビニル床シート) S=1/10</p>	<p>ビニル床シート立上げ幅木 S=1/10</p> <p>*は仕上表による。</p>	<p>床 クラック改修部分 (FS) S=1/5</p>	<p>軽鉄間仕切・開口補強 S=1/10</p> <p>軽鉄スタッドの巾 65 の場合 補強材：C-60×30×10×2.3</p>	<p>設備埋込ボックス類(スイッチ・コンセント他) 開口補強要領 S=1/10</p>														
<p>壁撤去要領 S=1/20</p> <p>特記なき限り壁撤去要領の寸法による</p>	<p>軽鉄間仕切壁 S=1/10</p> <p>③令114条の壁は耐火1時間とする。(全階共通事項)</p>	<p>直張り工法壁 (内壁) S=1/10</p>	<p>下がり天井納まり (特別教室、食堂) S=1/10</p>	<p>カーテンレール (ステンレス製) 図示</p>	<p>天井点検口 (目地タイプ) S=1/20 S=1/50</p> <p>※は別図による。</p>															
<p>軽量鉄骨天井下地</p> <table border="1"> <tr> <th>野線間隔</th> <th>野線種類</th> <th>野線間隔</th> </tr> <tr> <td>上張りの種類</td> <td>ボンド類で下地張りのある場合</td> <td>360内外</td> </tr> <tr> <td>下地張りの標準</td> <td>標準 (ボンド寸法900X1800程度)</td> <td>300内外</td> </tr> <tr> <td>下地張りの特殊</td> <td>特殊 (ボンド寸法450X900程度)</td> <td>450内外</td> </tr> <tr> <td>金属成型板</td> <td></td> <td>450内外</td> </tr> </table> <p>※吊ボルトがH=1500を超える場合は公共建築工事標準仕様書：14.4.4工法による斜め補強・水平補強を行う事</p>	野線間隔	野線種類	野線間隔	上張りの種類	ボンド類で下地張りのある場合	360内外	下地張りの標準	標準 (ボンド寸法900X1800程度)	300内外	下地張りの特殊	特殊 (ボンド寸法450X900程度)	450内外	金属成型板		450内外	<p>天井 岩綿吸音板 (下張りあり) S=1/5</p>	<p>天井 石膏ボード、ケイカル板、岩綿吸音板 (直貼り) S=1/5</p>	<p>下がり天井納まり (トップライト部分) S=1/10</p>	<p>天井開口補強 S=1/20 S=1/50</p>	<p>天井開口補強 S=1/20 S=1/50</p>
野線間隔	野線種類	野線間隔																		
上張りの種類	ボンド類で下地張りのある場合	360内外																		
下地張りの標準	標準 (ボンド寸法900X1800程度)	300内外																		
下地張りの特殊	特殊 (ボンド寸法450X900程度)	450内外																		
金属成型板		450内外																		
<p>収納鏡 (体育館) S=1/10</p>	<p>ライニング化粧棚 S=1/10</p>	<p>壁凡例</p>	<p>流し台 SC (ステンレス) S=1/10</p>	<p>排水溝 (屋内) S=1/10 S=1/5</p>	<p>ライニングの補強 S=1/10</p>	<p>壁 掲示壁</p>														
<p>HD101079 鏡 取付 7ヶ所 2ヶ所 S=1/30</p>		<p>山梨大学施設・環境部</p>		<p>山梨大学施設・環境部</p>		<p>山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (二期) 改修設計業務</p>		<p>山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (二期) 改修設計業務</p>												
<p>担当</p>		<p>担当</p>		<p>担当</p>		<p>担当</p>		<p>担当</p>												
<p>湯本 春日 小出</p>		<p>湯本 春日 小出</p>		<p>湯本 春日 小出</p>		<p>湯本 春日 小出</p>		<p>湯本 春日 小出</p>												

